

2024年1月5日

第15回 日本語交流プログラム 海外参加校 応募受付開始

公益財団法人 博報堂教育財団は、第15回日本語交流プログラムに参加する海外校の応募受付を開始しましたので、本日発表いたします。

■ 当事業の目的

当事業は、日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、海外の生徒と日本の生徒がお互いの理解を深め、「文化の異なる人と、社会的課題に向かってともに行動できる人」への成長のきっかけとなる場の提供を目指したプログラムです。

■ プログラム概要

海外の中等教育機関(日本の中学校に相当)で日本語を学ぶ生徒を日本に招待し、日本校への訪問や同世代の生徒との交流、日本の文化・社会体験などを行います。

■ 応募資格

- 行政によって、正式な中等教育機関と認められている学校であること
 - 実施するプログラムの対象となる12歳～16歳の生徒に、日本語を指導していること
 - 生徒を引率する教師を本プログラム、および、事前研修の両方へ派遣できること等
- ※ このプログラムの参加決定と同時に、日本語教師を対象とした事前研修への参加も決定します。
- ※ 過去の参加校も応募可能です。
- ※ 詳しくは、財団ホームページに掲載の応募要項にてご確認ください。
財団ホームページ: <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

■ 助成内容

日本までの往復航空運賃、日本滞在中の宿舎・食事・活動費(研修費、交通費などを含む)等

■ スケジュール

応募受付期間: 2024年1月5日～2月19日

結果通知: 2024年6月中(予定)

実施予定時期: 2024年11月11日～11月29日(予定) 海外教師日本研修

2025年5月14日～5月27日(予定) 日本語交流プログラム

※ 事業およびプログラムの内容につきましては、財団ホームページをご覧ください。

※ 各国の感染症状況等によっては、当プログラムの全てまたは一部を延期・中止することがあります。

この事業は、独立行政法人国際交流基金、公益社団法人国際日本語普及協会、スリランカ日本語教師会、東海大学(台湾)、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、児童及び青少年の健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に設立されました。以降、「子ども・ことば・教育」を活動領域ととらえ、さまざまな活動を行っています。

50回を超える開催となった児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」に加え、「世界の子どもたちとの日本語交流」「子ども読書推せん文コンクール」さらに「こども研究所」などの活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/> ◇

- 本件に関するお問い合わせ先：
公益財団法人 博報堂教育財団
日本語交流プログラム（担当：由良）
TEL. 03-6206-6266 FAX. 03-6206-6582
E-mail: hakuho.gn@hakuhodo.co.jp